



いよいよ2学期スタート！！

約40日の夏休み、たっぷり充電できましたか？2学期は1番長く、各学年で行事も多いです。転入生も来ます。準備はバッチリ？と言いたいところですが…今回は外国語の授業について紹介します。



Q Classroom Englishを使うのが難しいのですが？

A Classroom Englishを使うのは主に指示する時に。

Ask your friend.
Let's sing along with the music.
Make pairs.
Make group with your friends.
Come up to the front.
など覚えておくといいですね。

Q やりとりを日本語でする児童がいます。

A インプットは十分か、やりとりはシンプルか。

原因⇒英語不安、はずかしい教師にも原因がある。

言語習得にはインプットが1番大切。教師と児童のやり取りを元にしたインプットの活動を十分行いましょう。その時間学習した英語表現のみでのやり取りに内容を簡素化しシンプルなものにしましょう。

Q 帰国子女の児童の扱いが難しい？

A 児童理解、英語で差が出ない活動を！

「英語ができて優秀」だと捉えがちですが、その裏にたくさんの苦労と努力をしてくれています。そのことを理解することが大切です。学習面や生活面で戸惑うことが多くあるかもしれません。スモールトークでの相手役や書く活動での先生の助手をお願いするとよいでしょう。伝言ゲームにお箸リレーをプラスさせるなどして英語力に関係なくみんなが楽しめる活動になります。

Q 授業がざわつくのですが？

A 動の後に静を入れる。

ゲームの後に、ABCカードの並び替え、リスニング活動、書く活動などの集中力が必要で静かにしないといけない活動を入れます。また、振り返りの時間に、落ち着くミュージックをかけると児童も集中して取り組みます。



外国語の授業は準備が大変だと感じます。教科書のことをなぞるだけでは楽しくなく、かと言ってどんなゲームを仕組んだらいいのか迷います。今年度はALTにTom先生に来ていただいています。楽しいアクティビティを豊富に知っておられます。授業で使ったプリント等をとっておくと次年度に使えると思いますので、担当学年の物は残していただけると助かります。データとしてあれば外国語に入れてください。御協力をお願いします。レッツ業務改善！！

参考「英語授業アイテム&ゲーム100」増渕真紀子著 明治図書